

生活保護システム

生活保護行政の変化、環境の変化や幅広い業務形態にも柔軟に対応し、継続してご利用いただけるシステムです。

生活保護システムは、生活保護行政の変化、環境の変化にも柔軟に対応し、継続してご利用いただけるWeb型のシステムです。豊富な導入実績とノウハウを基に、業務内容に応じた最適なシステムをご提供します。

特長

操作性、容易性を重視

選択した対象者に対するケース単位の処理、業務一括処理（登録、印刷）などの効率的な操作性、業務の流れに沿ったシステム構成、統一した操作性を追求し、業務の効率化を実現しています。

登録データの有効活用

一度、システムに登録したデータを有効活用することで、監査や統計など、報告を行う場合に必要な情報を容易に取り出すことができ、報告資料作成の手間を大幅に削減します。

各種帳票の電子化

外部向けの帳票であれば PDF、内部で集計を行う場合には Excel、データ連携する場合には CSV 形式など帳票の用途に応じて電子ファイルが作成されるので、作業の効率化を図ることができます。

他システム連携の豊富な インタフェース（個別対応）

住基・税システム、介護保険システム、市/県営住宅システムなど、様々なシステムとの連携が可能で連携データを利用して入力やチェックを行うことでシステム利用の手間を大幅に削減します。

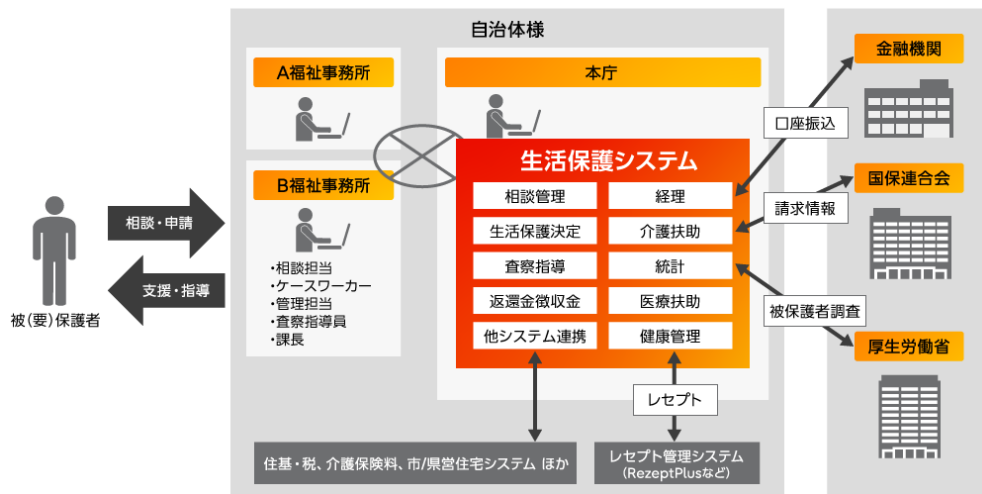
バッチ処理による効率的運用

保護決定、定例支給、医療券発行など月次処理について、オンラインまたはスケジュールでの起動方法の選択が可能です。大量データの場合は夜間にスケジュールすることで業務時間帯の端末稼働効率が上がります。

万全なセキュリティ対策

ログイン認証の他、利用者毎のメニュー設定に加えて、他福祉事務所情報の閲覧制限をかけることが可能です。その他、操作ログ・帳票発行履歴管理機能にてシステム内の操作状況についても把握することができます。

概要図



詳細情報

機能

相談管理	相談者の情報の登録および履歴照会を行います。 相談者からの申請書受理登録を行うことで相談者データが「生活保護決定」業務に連動します。
生活保護決定	新規申請者の調査情報（世帯情報・世帯員情報）を入力し、保護費の算定を行います。 継続世帯の世帯状況（収入等）の変更情報を入力し、保護費の算定を行います。 入力した情報より保護決定調書・保護決定通知書を出力し、決裁を行います。
査察指導	生活保護に関する査察指導業務を支援します。課税調査や処理状況資料等の作成を行います。
経理	決裁された保護費について、システム上での支給処理を行い、支給明細書等を出力します。 経理状況報告の集計・印刷を行います。
返還金徴収金	返還金徴収金の決定入力および調定・収納の債権管理を行います。
医療扶助	給付券（医療券・調剤券・施術券・治療材料券）の認定・発行を行います。 レセプト請求情報を取り込み、医療券との資格審査等の照会を行います。
健康管理支援	レセプト管理システムと連携し、指導対象者を抽出することができます。 また、指導対象者のフェースシート、支援計画、支援実績の管理が行えます。
介護扶助	介護券の認定・発行を行います。国保連請求情報を取り込み、介護券との資格審査や請求額の照会を行います。
統計	福祉行政報告例・全国一斉調査の集計・印刷を行います。
業務支援	生活保護システムで利用する各種支援機能を提供します。
マスタ管理	医療機関・介護機関・金融機関等の業務共通の情報の登録・変更を行います。
共通	個人照会：被保護者の履歴を含む各種情報照会が可能です。 掲示板：イベント情報の通知だけでなく、通知対象者の確認状況も管理できます。 予定：業務予定を登録でき、予定日に到達するとシステム上で通知されます。

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社

お客様総合センター 0120-835-554 ご利用時間 9時～12時、13時～17時30分(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)